

e スポーツ関係者を対象とした コンプライアンス研修実施のご報告

一般社団法人日本 e スポーツ連合(会長: 早川英樹 以下、JeSU)は、3 月 15 日(土)、Japan Sport Olympic Square にて、e スポーツ関係者に向けたコンプライアンス研修会を実施したことをお知らせします。

コンプライアンスは、アンチ・ドーピングと同様に e スポーツにおいても厳格な対応が求められる重要な規定です。JeSU は、昨年選手向けに実施した研修会をさらに拡大し、e スポーツビジネス関係者や動画配信に関わる方々など幅広い層に向けて研修会を実施しました。

Japan Sport Olympic Square にてオフラインで開催された研修会には、プロ選手やチーム関係者を中心に、e スポーツビジネスに関わる方々など、およそ 30 名が参加。4 時間の研修会を通して、ルールやマナーなどの基礎知識から、インタビュー対応の実践まで、コンプライアンスについて幅広く学びました。



研修会の最後には、特別講師として眞田卓選手(TOPPAN)が登場。アスリートとして常に、支えてくれているステークホルダーの存在を心がけることの大切さや、e スポーツ競技が今後発展し

ていくために必要な、「プロ意識」「スポーツの教育面の効果」「フェアプレーの重要性」といったトピックについて、アスリートとしての経験に基づいたエピソードを語っていただきました。

研修会の終了後、参加者はオリンピックを知る、学ぶ、感じる、挑戦する、考えるをテーマとした施設「日本オリンピックミュージアム」を見学。競技者として、また競技を支えるステークホルダーとして、スポーツ競技としての e スポーツについて、認識を新たにする貴重な機会となりました。

JeSU は今後も、e スポーツの中央競技団体として、コンプライアンスやアンチ・ドーピングなどの研修会を開催し、選手の意識を高めるための活動に継続的に取り組んでいきます。

日本 e スポーツ連合 (JeSU) について

一般社団法人日本 e スポーツ連合は、日本国内の e スポーツの普及と発展、そして e スポーツの振興を目的に国民、とりわけ青少年の競技力の向上及びスポーツ精神の普及を目指しています。e スポーツの認知向上と e スポーツ選手の活躍の場の更なる拡大を目指し、競技タイトルの公認や選手のプロライセンス発行、そしてアジア競技大会をはじめとした国際的な e スポーツ大会への選手の派遣など様々な取り組みを行っています。また、以下のスポンサー企業や団体の支援を受け、国内の e スポーツ産業の発展に努めています。

JeSU オフィシャルスポンサー： 株式会社マウスコンピューター 興和株式会社

活動助成： 一般財団法人上月財団 公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

協力：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)
一般社団法人日本オンラインゲーム協会 (JOGA)

後援：一般社団法人日本アミューズメント産業協会 (JAIA)
一般社団法人デジタルメディア協会 (AMD)

【報道関係者からのお問い合わせ先】

一般社団法人日本 e スポーツ連合

e-mail: press-info@jesu.or.jp 公式サイト: <https://jesu.or.jp/mailform/media/>